

議会だより

もくじ

一部事務組合等の報告	… 2～3
令和元年度の視察受入状況	… 3
12月定例会一般質問	… 4～7
会派紹介	… 8～9
トピックス	… 10
12月定例会の審議結果	… 11
3月定例会のお知らせ	… 12
編集後記	… 12



第 71 号

令和2年2月15日発行

(須賀川市人口 75,753人 1月1日現在) [前年度比 △388人]

小学生が議場を見学



柏城小学校の皆さん(1月10日)



小塩江小学校の皆さん(1月14日)



大東小学校の皆さん(1月14日)

1月に、須賀川市立柏城小学校、小塩江小学校、大東小学校の6年生の皆さんが、議場見学に訪れました。

議場では、議員席や当局席に座ってみたり、傍聴席からの見え方を確認してみたりと、臨場感を味わっている様子でした。

ぜひ、今後の学習に役立てていただければと思います。



一部事務組合等の報告

当市が構成員となっている一部事務組合の状況について報告します。

須賀川地方保健環境組合

本組合は、須賀川市、鏡石町、天栄村の3市町村で構成されています。

去る令和元年10月31日に定期会が開催され、「平成30年度須賀川地方保健環境組合一般会計予算継続費の通次繰越しについて」

「平成30年度須賀川地方保健環境組合一般会計予算継続費の精算報告について」、「監査委員の選任につき同意を求めることについて」

「平成30年度須賀川地方保健環境組合一般会計歳入歳出決算の認定について」、「令和元年度須

賀川地方保健環境組合一般会計補正予算(第2号)」の報告2件、議案3件が提案され、それぞれ了承、可決されました。

◇新ごみ処理施設

新ごみ処理施設

処理施設の解体工事の進捗率は、全体工程の約36%（10月末現在）で、計画どおりに進んでいます。

最終候補地において地区説明会を開催し、地元協議を進めてまいりましたが、地元の皆様の本事業に対するご理解のもと、令和元年11月15日に協定書を締結いたしました。

佐藤栄（議長）
小野裕（副議長）
美二憲夫
一洋政
尾木章
浜鈴聰
木谷正
深谷聰
大柿堂
石安藤
佐藤

※須賀川市議会選出の議員



新ごみ処理施設

須賀川地方広域消防組合

本組合は須賀川市に本部を置き、1本部2消防署6分署1分遣所で構成され、須賀川市・岩瀬郡・石川郡の1市4町3村を管轄とし、207名の職員が24時間体制で4万9,635世帯13万1,843人の住民の皆様の安全安心を守っています。

平成16年改正消防法を経て平成18年6月に須賀川地方広域消防組合火災予防条例で住宅用火災警報器（住警器）の設置が全世界に義務付けられ、13年が経過しました。住警器は古くなると、電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるので、定期的な点検と買い替え設置をお願いいたします。

管内では住警器の鳴動により、いち早く火災に気付き、火災発生に至らなかつたケースもあります。しかし残念なことに管内の住警器設置率は73%、正しい箇所に取り付けられた条例適合率は49%と、県内でもワースト



須賀川地方広域消防本部及び消防署



石川消防署の新庁舎

大寺正（議長）
藤秀（副議長）
寺高（議員）
橋邦（議員）
谷勝（議員）
本善（議員）
田勝（議員）
加和（議員）

※須賀川市議会選出の議員

水準です。
大切な命と財産を守るためにも、まだ設置がお済みでない住宅は速やかな設置をお願いいたします。

本企業団は、須賀川市、鏡石町、天栄村、玉川村の4市町村で構成し、地域医療の拠点施設として周辺地域住民の安心・安全の確保と健康増進に貢献できるよう取り組んでいます。

去る令和元年11月5日に定例

会が開催され、議長に須賀川市議会選出の大内康司議員が、副議長に鏡石町議会選出の木原秀男議員が選出されました。

4の公立・公的病院を公表したもので、「急性期病院としての診療実績」について当病院は該当せず、「近くに類似する医療機関がある」ことについては、郡山市が隣接することが要因とされただもので、診療実績が乏しいわけではなく、病院の再編や統合のため存続できなくなるものではありません。

大内 康司
(議長)
大河内 和彦
溝井 光夫
市村 喜雄
鈴木 正勝

※須賀川市議会選出の議員



定例会開催の状況

《全国からの視察団を受け入れています》

令和元年度の受入状況

視察日	団体名	人数	調査項目
令和元年 7月10日	島根県松江市議会	2	市民交流センター tette について
令和元年 7月16日	福島県南相馬市議会	10	須賀川市庁舎における議会機能について
令和元年 7月23日	東京都狛江市議会	6	市民交流センター tette について
令和元年 8月 1日	京都府舞鶴市議会	6	中心市街地活性化及び観光振興の取り組みについて
令和元年 8月16日	埼玉県草加市議会	1	市民交流センター（中央図書館）について
令和元年10月29日	東京都府中市議会	11	新庁舎の概要について

※写真は、東京都府中市 市庁舎建設特別委員会 視察の様子です。

計 6団体 36人



委員会室



議場



議場

答 笠平川河川改良工事は、糸迦堂川から東北自動車道まで約730mに分水路を設置する計画であり、平成30年度から工事を実施。上流域の雨水を糸迦堂川へ直接放流することにより、浸水被害を軽減する事が可能になる。田んぼダムは、水田の貯水機能を利用して、一時的に水を貯め、時間をかけて流すことで下流側

まちづくりについて



横田 洋子

への集中的な雨水排水を抑制することができるものである。

答 笹平川河川改良事業は事業費ベースで6・3%、田んぼダムは、計画面積に對して15・1%である。引き続き国や県に補助交付額の増額を要望し、事業進捗を図りたい。田んぼダムの効果実現には、水田耕作者の理解と協力が必要不可欠である。区域拡大への協力をお願ひしていく考え方である。

○ その他の質問項目

- ①台風第19号による被災者支援について
- ②子育て環境の拡充について
- ③農業の担い手対策について

問 風流のはじめ館は、具体的にどのような施設となるのか、建物概要とあわせて伺う。

答 様々な世代が交流できる場とする目的とし、木造平屋建てで面積は732・58m²。特色のある空間を構成しており、和室3室や多目的室2室のほか、主に俳句関連資料等の見学スペースを行っている。行方不明になつた場合の対策としては、すかがわ見守り・期集中支援チームが支援を行つてゐる。

SOSネットワーク推進事業、QRコードの付与、GPS機器貸与事業を実施している。また、認知症ケアバスを作成し、啓発を図り、認知症力フェの運営支援等も行つてゐる。

文化の継承について

認知症施策の推進 について

問 風流のはじめ館の運営について伺う。
答 市が直接管理運営する考え方である。

鈴木 正勝

全世代・全対象型地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みについて

問　防災、減災の対策に係る予算を強化していくべきと考えるが。べきと考えるが。

答　今後は、今回の台風第19号災害を踏まえ、新年度の予算編成を初めとした今度の予算編成の中で、国の動向を注視しながら、可能な限り防災減災対策経費の予算化を図る考え方である。

問　公共施設等総合管理計画における個別計画策定に合わせた財政計画に見直しをする考えは。

答　これら計画の実効性を高めるためには、財政負担の平準化を図る必要があるため、個別施設管理計画の進捗状況を勘案しながら、財政計画を毎年度見直す中で対応。

問 システム構築に向けた取り組みについて

答 高齢者全体の約12%の参加率。通いの場の実施箇所を増やしていく取り組みを行うとともに、チラシ配布などにより、参加者の増加に努めている。

位での開催から、町内会、行政区単位での開催とし、きめ細やかに対応。

問 地域支え合い会議の 答 福祉部門を中心に企 業的な取り組みを進めて まいる考え方である。

2%の参加率。通いの相談箇所を増やしていく取り組みを行うとともに、チラシ配布などにより、参加者の増加に努めています。

答 通いの場において「ウルトラ長寿体操」の参加率と参加向上対策は。

位での開催から、町内会、行政区単位での開催とし、きめ細やかに対応。

問 多機関の協働による包括的相談支援体制構築への取組状況は。答 包括的相談支援窓口を、令和2年4月から社会福祉協議会に委託して開設する予定。

る。 2%の参加率。通いの実施箇所を増やしていく取り組みを行うとともに、チラシ配布などにより、参加者の増加に努め

答 通いの場において「ウルトラ長寿体操」の参加率と参加向上対策は。

位での開催から、町内会、行政区単位での開催とし、きめ細やかに対応。

12人の議員が市政に対する一般質問を行いました

問 小作田字荒町地区内では、取上川の内水氾濫によりたびたび浸水被害が発生しているが、取上川の整備について伺う。

答 地元から浸水被害軽減のため堤防整備の要望があり、県市長会を通じての要望や県とのまちづくり意見交換会で堤防の早期整備を要望したところである。

答　避難所、消防屯所の見直しについて伺う。

問 稲作の持続のための
担い手育成に向けて、
人・農地プランを活用し
た集落営農への対応や、
担い手支援のためのカン
トリーエレベーターの導
入について伺いたい。



持続可能な本市の 稻作について

答 転換作物の導入は中・長期にわたる課題として捉えており、生産者や生産者団体の意向、供給体制整備を踏まえ推進することが必要と考えていて伺う。

大柿 貞夫

問 小作田橋の架け替え計画はあるのか伺う。

答 県では、現時点での架け替え計画はないが、小作田橋の橋台が水位上昇の際にその流れを阻害するため、河川改修は必

A portrait of a man with grey hair, wearing a dark suit, white shirt, and striped tie. He is looking slightly to the right of the camera.

加藤 和記

人設立に向けた先進地等の視察活動に取り組んでいるところである。また、カントリーエレベーターを持続的に経営するためには、地域の生産組織の整備や強化が必要であり、事業主体となる農業団体などの意見を聴取するとともに、連携を図りながら対応する考えである。

問 近年の災害で課題となつてゐるのがペット同伴の避難である。ペットの避難についての考え方、また乳幼児のい世帯の避難について考え方を伺う。

問 避難所の環境や運営に関わる問題は様々ある。事前に対応を講じることによって、被災者に配慮し、不安を少しでも解消することができる。今回の台風第19号において、災害協定により避難所に使用された物資はどのようなものがあったか伺う。

掌晤 明奈

問 市内13カ所の防災倉庫の中でも、倉庫が併設されていた避難所は何か所か。また、避難所とされる公共施設に防災倉庫を設置すべきと考えるが市としての考えを伺う。

答 併設されている避難所は3カ所であった。公民館には、計画的な設置を進めている。学校における防災倉庫の設置は、スペースの確保や備蓄品の管理も含めて、施設管理者と協議の上、検討していく考え方である。

①児童生徒に対する
被災対応について
②企業誘致における
雇用創出について

その他の質問項目

問 複式学級のあり方にについて

答 複式学級が編成される基準は、法律に基づき、小学校では、二つの学年の児童数の合計が1年生を含む場合は8名以下、2年生以上の場合には16名以下で編成する。

問 今年度、複式学級が編成されている学校と学級数、また、複式学級を編成する学校が今後増えるのかについて伺う。

答 西袋第二小に1学級、小塩江小に2学級、大森小に1学級の計4学級。また、今後5年間には増える見込みはない。

問 教育現場における対応策として、児童たちに学習内容を十分身に付けさせるためどのような対応をしているのか。

答 担任外の教員を副担任として、教科の特質に応じて

問 複式学級が編成される基準は、法律に基づき、小学校では、二つの学年の児童数の合計が1年生を含む場合は8名以下、2年生以上の場合には16名以下で編成する。

問 今年度、複式学級が編成されている学校と学級数、また、複式学級を編成する学校が今後増えるのかについて伺う。

答 西袋第二小に1学級、小塩江小に2学級、大森小に1学級の計4学級。また、今後5年間には増える見込みはない。

問 教育委員会では子供たちの教育活動を充実させるためにどのような対応をしているのか。

答 学校訪問などの機会に教育活動の様子を参観し、児童一人一人に寄り添ったきめ細やかな対応を行うよう指導している。

問 館取町地内の内水排水対策について見直しを考えているか。

答 今回の検証結果などを踏まえて、貯留施設の容量やゲートポンプの能力等を含め、効率的な対策となるよう関係各課と連携して全体計画の見直しを行った。考え方である。

問 館取町付近の釧迦堂川の整備状況は。

答 県に確認したところ、館取町付近は暫定的に組みなどによる小中一貫教育のメリットを生かした教育活動を推進できるよう取り組んでいる。

問 複式学級が編成される基準は、法律に基づき、小学校では、二つの学年の児童数の合計が1年生を含む場合は8名以下、2年生以上の場合には16名以下で編成する。

問 今年度、複式学級が編成されている学校と学級数、また、複式学級を編成する学校が今後増えるのかについて伺う。

答 西袋第二小に1学級、小塩江小に2学級、大森小に1学級の計4学級。また、今後5年間には増える見込みはない。

問 教育委員会では子供たちの教育活動を充実させるためにどのような対応をしているのか。

答 学校訪問などの機会に教育活動の様子を参観し、児童一人一人に寄り添ったきめ細やかな対応を行うよう指導している。

問 館取町地内の内水排水対策について見直しを考えているか。

答 今回の検証結果などを踏まえて、貯留施設の容量やゲートポンプの能力等を含め、効率的な対策となるよう関係各課と連携して全体計画の見直しを行った。考え方である。

問 館取町付近の釧迦堂川の整備状況は。

答 県に確認したところ、館取町付近は暫定的に組みなどによる小中一貫教育のメリットを生かした教育活動を推進できるよう取り組んでいる。

問 複式学級のあり方にについて

答 可能な限り学年を分けて授業をしたり、基礎学力向上補正教員を配置し、国語や算数など主要教科の授業について学年を分けて行っている。また、音楽や体育、図工などの実技教科では、隣接する学年と合同授業ができるように教育課程の編成を工夫している。

問 台風第19号被害の対応と課題について

答 さらに、教科担任制を導入して教師の専門性を生かした指導を行うなど、各学校が創意工夫しながら教育活動を行うことで、子供たちに学習内容が十分身につくよう努めている。

問 今回の災害を踏まえ、釧迦堂川の堤防をかさ上げするなど、河川整備を見直して早急に実施どのように復旧するのか。

問 今回の災害復旧事業に電機の復旧と合わせ、再び被災することがないよう新たに止水壁を設置する予定である。

問 J-T跡地について、物流エリアと製造エリアの事業進捗状況は。

問 既存誘致企業、もともとの地場企業に対して更なる支援策は。

問 佐藤栄久男

佐藤栄久男

問 大寺 正晃

大寺 正晃

問 広瀬 吉彦

広瀬 吉彦



問 企業誘致等について

答 J-T跡地について、物流エリアと製造エリアの事業進捗状況は。

問 館取町地内の内水排水対策について見直しを考えているか。

答 今回の検証結果などを踏まえて、貯留施設の容量やゲートポンプの能力等を含め、効率的な対策となるよう関係各課と連携して全体計画の見直しを行った。考え方である。

問 今回の災害を踏まえ、釧迦堂川の堤防をかさ上げするなど、河川整備を見直して早急に実施どのように復旧するのか。

答 公共災害復旧事業により、ポンプ操作盤、発電機の復旧と合わせ、再び被災することがないよう新たに止水壁を設置する予定である。

問 空港の経済波及効果をどうとらえているか。

答 相応の経済波及効果を生み出す意義も大きいと考える。

問 福島空港の利活用について

答 振興会議での審議を踏まえ、支援に取り組む考えである。

問 企業誘致等について

答 振興会議での審議を踏まえ、支援に取り組む考えである。



会派紹介

須賀川市議会では、3人以上を正式な会派としており、3人未満は政務活動費支給に限って認めている会派で、「無会派」と表記しています

新政会

昨年9月に新しい議会がスタートし、新しい会派がスター トしました。会派名は「新政会」です。

元号が令和になり、新しい時代となりましたが、これからの議会は、人口減少、高齢化社会等に向け、難しい運営をしていかなくてはなりません。会派名「新政会」には、そうした状況の中、しっかりととした政策を考え実行できる会派を目指す、という意味が込められています。

会員は新人3名を含む10名で、年齢は40代から60代までの幅広い構成になっています。新人議員に対しても、議会の慣例、質問の仕方などを先輩議員が良く指導しています。また、議案調査の手法や議案の考え方など、議員としてやるべき事をしっかりと指導できる体制になっています。



吉彦(代表) 幸美二 章男 善記 雄勝
広藤 尾木 鈴木 堂藤 佐本 加藤 田藤 村木
斎浜 鈴木 佐本 加藤 田藤 村木

より良い市政発展に向けて会員一同努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

今後も、市議会議員としての役割を認識し、誠実で謙虚に、

次年度予算編成に向けての予算要望も市当局に提案するなど、積極的に活動しています。

志政会

昨年の改選により、新人4名が加わり9名となりました。市民の皆さまの負託に応えるべく研鑽してまいります。

昨年の台風第19号豪雨により多大なる被害を受けられた皆さんと共に、一日も早く元の生活に戻ることを願つております。私たちは、一日も早い復旧と、安心して生活ができる環境整備に努めてまいります。

昨年10月30日には市当局に対し、水害支援に向けた緊急要望と、令和2年度の予算編成に向けた要望書を提出いたしました。本年1月14日には、市民の皆さんに会派だよりをお届けしたところです。今後も、市民の皆さんに寄り添い、安心して生活できる社会づくりに向け取り組んでまいります。

私たちは、地方自治の役割は、その地域が継続して安全に安心して暮らすことができる環境を整備していくことであると考え



佐藤 二郎(代表) 邦勝 幸史 夫 聰 晃伸 司
高橋 熊谷 小野 柿藤 大安 寺十 大嵐 康司

最後になりますが、本年は、東京オリンピック・パラリンピック開催の年です。本市においては、3月28日に聖火リレーが実施されることから、市全体の盛り上がりの一助となることを願っております。

ついでに、本市の事業遂行に進めるとともに、議会人として時代ニーズを見極め、最良の判断をしてまいります。

対し、結論を導き出す議会活動を進めるとともに、議会人として時代ニーズを見極め、最良の判断をしてまいります。

須賀川未来会議

格差」についての研修会に参加しました。

令和元年台風第19号により被災された皆さんに、お見舞い申し上げます。

私たちの会派は1期目1名、2期目2名による3名で構成している会派です。

これまで9月と12月定例会が開催されましたが、会派で議案提出の背景や内容などについて、現地や担当課に聞き取るなどにより調査し、統一見解で議会に望んでいます。

昨年の台風第19号による被災状況についても、10月13日午前に市内を回り、午後からは福島県須賀川土木事務所を伺い被害状況の説明を受けました。

さらには、会派で被災者の声を集め、10月30日に早期の生活や事業再建に向けた要望書を市へ提出しました。

今年2月7日、8日に「人口減少社会における出産と子供・子育て支援政策の問題点と課題」「医療保険制度の財源と給付から検証する地域・世代・保険者間

溝井 光夫
(代表)
深谷 政憲
大河内和彦



日本共産党須賀川市議団（無会派）

2期目の横田洋子、新人の堂脇明奈の女性議員団です。

私たち、「8時間働けばふつうにくらせる社会」「暮らしを支える社会保障を築く」「お金の心配なく学び、子育てできる社会」を目指し、市民が主人公の市政を実現するために努めています。市民の皆さまの声をしっかりと受け止め、社会の厳しい生活状況を肌で感じ、その実態を市政へ届け改善へと力を尽くしていきます。さらに、だれもが尊厳をもつて自分らしく生きられるジェンダー平等社会の実現へ向けて全力を挙げていきます。

医療や介護、子育て、地域振興や災害対策など、住民にとって最も身近な行政である地方自治体が、「住民福祉の機関」として果たす役割はますます重要です。日本共産党は、憲法がうたう「地方自治の本旨」に基づく地方自治体の自主性と、その取り組みに必要な財源を保障するとともに、地域住民のくらしを

守り、地域の再生を目指す取り組みを進めています。その政策に基づき、私たちは、議案に対して市民目線でチェックし、今後も是々非々の姿勢を貫きます。また、女性目線できめ細かな議員活動を行っていきます。

議会のお知らせは「かけありき」や「市議会だより」を作成して、皆さまへお届けしています。生活相談も行っています。

横田 洋子
(代表)
堂脇 明奈





トピックス～議会活動報告～



岩瀬地方市町村議会議員大会は、10月30日にグラシア須賀川で開催され、須賀川市、鏡石町、天栄村の3市町村の議員46人が参加しました。

大会では、岩瀬地方の課題について各議会から提出された議案を審議し、議決された内容を、岩瀬地方市町村議長会を通じて、県及び県議会に提出する「実行運動」を実施しています。

● 須賀川市議会から ①原子力損害賠償の確実な実施及び迅速化②生活バス路線に対する支援措置③企業誘致の推進

以上、全9議案が提出され、その全てが可決されました。

記念講演では、「自治体における働き方改革と地方議会議員」との演題で、合同会社W L B C 関西執行役員の福井正樹先生から講演がありました。

働き方改革の必要性や、議会における業務効率化について提言があり、大変興味深い内容でした。

● 鏡石町議会から ①一般国道4号鏡石町区間の4車線化整備促進②土地改良事業における地元負担の軽減と早期事業の着手③石綿セメント管更新事業に係る補助事業の復活

● 天栄村議会から ①国道11号の整備促進②国道294号の整備促進③県道白河羽鳥線の整備促進

岩瀬地方市町村議会議員大会

福島県市議会議員研修会



福島県市議会議員研修会が、郡山市のホテル華の湯で行われました。講師に早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を招き、「地方創生は議会からはじまる（人口減少×5G時代に議会はどう挑むのか？）」について講演をいただきました。

時代は常に変化しており、住民ニーズを把握するための議会活動が必要であるとし、次のとおり事例紹介がありました。

● 秋田県上小阿仁村 人口減少に対応し、自動運転の乗り合いバスを運行

● 岩手県久慈市 地元議員の持つノウハウを生かした、ICTによる災害情報の共有化

● 長崎県小値賀町 「町民と共に歩む議会」を具現化するため、一般質問に際して傍聴者が意見を述べる時間を設定

ますます進展する人口減少社会において、これまで予想もしなかつた分野にまで市民ニーズが発生することも考えられます。これから5G時代において、議会が「ワンチーム」となり、情報の発信と収集、そして共有を図る必要性を感じました。市民の皆さんと共に歩みながら、須賀川市の未来像を描き、活動してまいります。

12月定例会の審議結果をお知らせします！

議案等番号	件名	結果
議 案	124 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて	○
	125 専決処分の承認を求めるについて	○
	126 須賀川市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例	○
	127 須賀川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○
	128 須賀川市部設置条例	○
	129 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○
	130 須賀川市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例	○
	131 市道路線の認定及び廃止について	○
	132 須賀川市下水道事業経営審議会条例	○
	133 須賀川市下水道事業等に地方公営企業法の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例	○
	134 須賀川市公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○
	135 須賀川市下水道事業特別会計条例等を廃止する条例	○
	136 須賀川市下水道条例の一部を改正する条例	○
	137 須賀川市立阿武隈小学校大規模改修工事（一期）のうち建築主体工事の請負契約の変更について	○

議案等番号	件名	結果
議 案	138 令和元年度須賀川市一般会計補正予算（第5号）	○
	139 令和元年度須賀川市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○
	140 令和元年度須賀川市水道事業会計補正予算（第2号）	○
	141 議会の議員に対する期末手当支給に関する条例の一部を改正する条例	○
	142 市長等の給与及び旅費並びに教育長の勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例	○
	143 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○
	144 令和元年度須賀川市一般会計補正予算（第6号）	○
	145 令和元年度須賀川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○
	146 令和元年度須賀川市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○
	147 令和元年度須賀川市一般会計補正予算（第7号）	○
	148 令和元年度須賀川市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○
	議 案 提 出 2 議員の派遣について	○
	報 告 17 専決処分の報告について	○

＜結果の表示記号＞ ○ 全会一致で可決、同意、承認、採択、了承 ○ 賛成多数で可決、採択

■ 賛否が分かれた議案等

各議員の賛否一覧

～上の表のうち、賛否の分かれた議案などについて、議員ごとの賛否をお知らせします～

会派等	新政会												志政会												須賀川未来会議	無会派	議決結果		
議員名	齊藤	浜尾	鈴木	石堂	佐藤	本田	加藤	市村	鈴木	広瀬	高橋	熊谷	小野	大柿	安藤	大寺	五十嵐	大内	佐藤	深谷	大河内	溝井	堂脇	横田	賛	反	棄		
議案等番号	秀幸	一美	洋二	正章	榮久	男善	勝記	和喜	正雄	勝彦	邦彦	勝裕	貞史	大聰	正夫	寺暉	伸	康司	二	政憲	和彦	光夫	明奈	洋子	成	対	権		
議案 141	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	21	2	0		
議案 142	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	21	2	0		
議案 144	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	21	2	0		

※ ○は賛成 ●は反対

※議長（五十嵐 伸）は、採決に加わりません。



3月定例会のお知らせ

3月定例会は、2月20日(木)から3月18日(水)までの28日間開催される予定です。

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20	21	22
				① 招集日 【本会議】 (議案一括上程 提案理由説明)	② 議員議案調査	休会
23	24	25	26	27	28	29
休会	休会	議会運営委員会 議員議案調査	議員議案調査	議員議案調査	③ 総括質疑ほか 【本会議】 (総括質疑、議案等の 委員会付託) 議員議案調査	休会
3/1	2	3	4	5	6	7
休会	④ 常任委員会議案調査	常任委員会議案調査	常任委員会議案調査	一般質問 【本会議】	一般質問 【本会議】	休会
8	9	10	11	12	13	14
休会	⑥ 【委員会】 総務生活常任委員会 産業建設常任委員会	【委員会】 文教福祉常任委員会	【委員会】 予算常任委員会	【委員会】 予算常任委員会	休会	休会
15	16	17	18	19	20	21
休会	【委員会】 予算常任委員会	⑦ 事務整理	⑧ 最終日 【本会議】 (委員長報告、 議案等の質疑・ 討論・採決)			

① 招集日【本会議】 (議案一括上程提案理由説明)

定例会の会期を決定します。また、今期定例会に上程された議案などの提案理由の説明を受けます。

② 議員議案調査

20日に提案理由の説明を受けた議案について、議員が議案の調査をし、今後の審査に備えます。

③ 総括質疑ほか【本会議】 (総括質疑、議案等の委員会付託)

議案に対する議員の総括質疑を行います。また、詳細な審査をするため、付託する委員会を決定します。

④ 常任委員会議案調査

常任委員会に付託された議案などについて、委員会を開催し、議案を調査、今後の審査に備えます。

⑤ 一般質問【本会議】

一般質問(4~6日)では、市政全般の事務などについて質問を行い、市政執行の状況や今後の方針などを確認したり、議員としての意見などを述べたりします。

⑥ 【委員会】

委員会審査(9~12日、16日)では、各委員会に付託となった議案の内容について、質疑を行なながら細かく審査します。委員会として賛否を決定し、本会議最終日で委員長が審査の結果を報告します。

⑦ 事務整理

議員が、委員会審査の結果を踏まえ議案などに対する賛否を検討します。

⑧ 最終日【本会議】(委員長報告、議案等の質疑・討論・採決)

各委員会に付託された議案などに関する委員長報告を行い、質疑・討論を実施します。それを踏まえて採決が行われます。また、追加提案や議員提出議案などがある場合は、それらについても審議します。

次号の「議会だより」は、5月15日
の発行予定です。

委員長
副委員長
委員
委員
員

小熊 浜 高 齊 堂 鈴 溝
野 谷 尾 橋 藤 脇 木 井
裕 勝 一 邦 秀 明 洋 光
史 幸 美 彦 幸 奈 二 夫

議会広報常任委員会

(委員
堂脇明奈)

本年も、議会が皆さまの身近に感じられる紙面づくりを目指してまいります。

また、震災から9年となりますが、昨年は甚大な台風被害を受けました。復興・復旧に力を注ぎ、一日も早い生活再建に取り組んでまいります。

新しい年となりました。
今年は、東京オリンピック・パラリンピック開催の年です。3月28日、再び聖火が須賀川市を通過します。みなさんとともに盛り上げていきたいと思いま